

〔 横浜市市民文化会館関内ホール 〕
 令和5年度業務計画及び収支予算
 〔 かんないアート&メディアパートナーズ 〕

(株) t v k コミュニケーションズ・(株)テレビ神奈川・神奈川新聞社・
 (株)清光社・(公財) 横浜市芸術文化振興財団共同事業体

※ 文中の事業欄において、●：主催事業 ○：共催事業を示します。
 ※ 文中の達成指標欄において、□：定量的指標 ■：定性的指標を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市市民文化会館関内ホール
所在地	横浜市中区住吉町4-42-1
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上5階地下2階建
敷地・延床面積	延床面積 8,967.51 m ²
開館日	1986年(昭和61年)9月27日

2 指定管理者

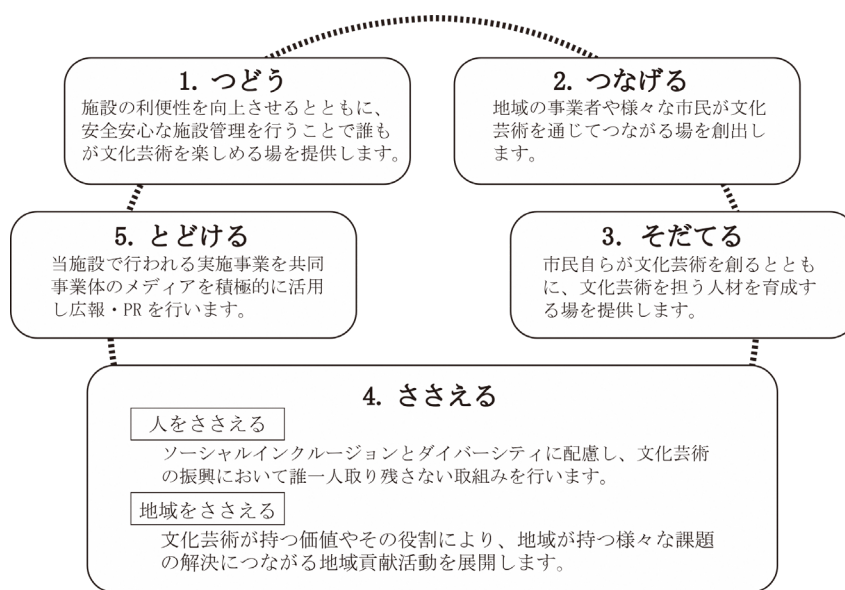
法人名	株式会社 t v k コミュニケーションズ
所在地	横浜市西区西平沼町6-1 tvk ecom park (ヨコハマくらし館内)
代表者	熊谷典和
設立年月日	昭和49年9月10日
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
現指定管理者の 管理運営開始日	令和4年4月1日

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

(1) 基本的な方針

横浜市の文化芸術政策等への貢献を念頭に、施設の特性や馬車道エリアという立地を活かし、施設のミッションである「文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場の提供」「文化・芸術の鑑賞の機会の提供」「次世代を担う人材の育成」「地域のにぎわいの創出」等を実現するため、3期15年間の運営経験と5社共同事業体の持つ専門性を活かし、下記に示す5つのコンセプトと6つの使命に対する基本方針で関内ホールの管理運営に取り組めます。

◆ 5つのコンセプト



◆ 6つの使命と基本方針

1. 〈使命1〉 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場になる

- ①各種法令、条例、規則などを遵守し、あらゆる市民が利用し易い環境づくりを行います。
- ②施設利用者に対し、全職員のきめ細かな接遇やワンストップサービス（生花、弁当、機材等の手配）を実施することで発表、集会等、様々な文化的活動を支援します。
- ④利用者に対する定期的なアンケートやヒアリングを行うとともに、苦情があった際は対応フローに基づいた適切な対応を行った上で、今後の改善策を検討します。

2. 〈使命2〉 文化芸術の鑑賞機会を提供する

- ①地域の文化振興のニーズに応えるとともに、新たな文化芸術にも着目し、市民のための文化施設としてこれまでの文化芸術の継承と更なる拡がりのある鑑賞事業を実施します。
- ②市民参加型のシンボリックな事業への参加、体験型事業やアウトリーチ事業の積極的な実施により、市民の文化芸術についての意識を醸成します。
- ③ソーシャルインクルージョンに配慮し、障がいの有無に関わらず、一人でも多くの方に文化芸術の鑑賞の機会を提供します。

3. 〈使命3〉 次世代を担う人材を育む

- ①乳幼児対象や幼児から学童対象、小中学生等、子どもの成長段階や興味に合わせて、文化芸術に触れる多彩な機会を提供することで未来のアーティストの芽を育てます。
- ②若手ジャズミュージシャンの発掘や育成に向けてのステップアップ方式の演奏機会を提供すること等により、新進アーティストが活動の機会を広げる支援を行います。
- ③横浜市芸術文化教育プラットフォーム『学校プログラム』に積極的に協力し、市民に向けた文化芸術活動に係る講座を開催することで、文化芸術活動の担い手の育成にも取り組みます。

4. 〈使命4〉 地域のにぎわいを創出する

- ①地元の馬車道商店街などに対して、広報活動の支援や地域イベントへの協力、クーポンサービスなどの実施により、連携・協働して地域の賑わいづくりを推進します。
- ②当共同事業体の強みを活かした様々なプロモーション活動を実施するとともに、地域文化の継承の役割も担います。
- ③地元事業とのタイアップや様々な関連団体との連携を行うことで地域の賑わいを創出するとともに、新たな地域貢献にも取り組めます。

5. 〈使命5〉 利用者の視点に立ち持続可能性を高める施設運営を行う

- ①これまでの当施設の管理運営ノウハウを発揮し、日々の施設点検と早期の修繕実施による施設の長寿命化を実現します。
- ②様々な災害を予見した、マニュアルの作成や職員への訓練、利用者に対する安全の確保を行い、施設の安全安心な利用を第一に考えます。
- ③公演開催時には多くの方が利用される施設であるため、業務基準を上回る清掃を実施することで、施設の安全性と美観を保ちます。

6. 〈使命6〉 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する。

- ①新型コロナウイルス感染症拡大等の影響による休館や利用者の制限があった際には、市と協議の上で速やかな対策を実施するとともに、制限が解除された際にすぐに安全が確保できる体制を整えます。
- ②感染症の影響が長期化した場合には、徹底した感染防止対策の下、安全安心な自主事業を開催するとともに、無観客ライブ配信や有観客とライブ配信を組み合わせる等、状況に応じた事業を実施します。

(2) 令和5年度の業務の方針

*全体について

今年度は、「かんないアート&メディアパートナーズ」として2年目となり提案書に掲げた業務を推進していきます。

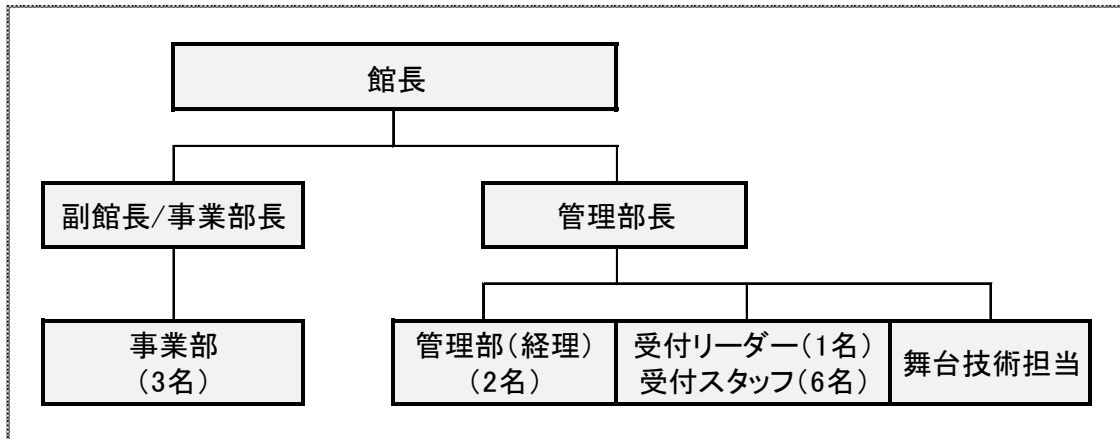
コロナ感染症の影響が続く中、燃料価格が高騰し電気使用料、ガス使用料においては収支計画に大きく影響していますが、文化・芸術の拠点としての市民文化会館の機能が果たせていけるよう取り組んでまいります。

コロナ以降、需要が高まった動画配信やオンライン会議などに対応できるよう、ホールにおける回線設備の強化に加え、地下リハーサル室のLAN回線のWi-Fi環境を整備していきます。

また神奈川新聞社のメディア力を発揮して、広報の強化を行うとともに、地域の結節点としての役割についても、商店街や大学などとの連携を具体的に進めていきます。

4 運営組織の構造、人員配置

◆組織図



- *互いに業務を補完しマルチジョブによる効率的で効果的な体制を構築します。
- *施設の管理にあたっては、専門分野の人材を適正に配置します。
- *高い意欲と実務経験を保有する職員が、各々の専門性を発揮し、市の施策や施設の役割等を十分に理解した上で業務を実施します。
- *専門スタッフにより、地域特性を熟知した事業企画や幅広い広報活動を実施します。

5 令和5年度の業務の取組

(1) 文化事業

新型コロナウイルスの終息が見通せない中、今後もある一定数の感染が続くことを想定して、事業計画を大きく見直していくことが求められます。

今年度は引き続き密な状態での歌唱が避けられないゴスペルワークショップなどクラスターのリスクの高い事業の実施を見送る一方、陽だまりコンサートなど比較的风险の低い事業は十分な感染対策を行った上で実施していきます。

また、感染症の流行だけではなく様々な経済的な要因がある中、観客動員も予測困難な状況にあります。これまで収益の軸であった落語公演も、周辺施設で出演者が重なることが多く、安定的な集客が難しい状況はすでに起こっています。これまでは、主催事業の予算規模を拡大してきましたが、今後は、収支リスクのある主催事業の実施から、リスクのない共催・協力事業の誘致をさらに促進し、市民の鑑賞機会のさらなる拡大に努めます。

地域との連携による賑わいの創出については、馬車道商店街との協力関係をさらに強固なものにしていくとともに、他の団体とも連携し、新たな地域連携の取組を行います。

■今年度の実施予定事業

〈鑑賞事業〉

1,000席の大ホールを持つ関内ホールの重要な役割の一つが、市民への多彩で質の高い鑑賞機会の提供です。今年度も、共催・協力事業を含め60公演以上の実施を予定しています。

主催事業では、人気の関内寄席を継続していくとともに、改修後にアコースティックの音響効果が大きく改善した大ホールを活用して、著名な演奏家による本格的なクラシックコンサートを実施します。

〈ソーシャルインクルージョンに配慮した鑑賞機会の提供〉

障がいのある方々の参加促進のため、新進アーティストコンサート等で障がい者割引やキャッシュバックなどにより経済的な負担の軽減に努めます。

地域の障がい者支援施設や社会福祉協議会など地域団体・行政と連携し、障害のある方々の鑑賞機会拡大のための協力体制を整えます。

また、吉野町市民プラザ、岩間市民プラザとの3館連携事業として「障がいの有無に関わらず共に参加する共創型のダンスワークショップ」の実施を目指します。

〈横浜が誇る文化芸術事業への協力〉

横浜を代表するイベントである「横濱ジャズプロムナード」や「ヨコハマ映画祭」、市内の小学4年生を対象としたバレエ鑑賞会「心の教育・バレエの世界」の実施に向けた協力を行います。

〈次世代育成事業〉

0歳から参加できる乳幼児向けクラシックコンサートや落語の成り立ちなどを学びながら楽しめる「子ども寄席」など多彩な鑑賞機会を提供します。子どものためのバレエなど質の高い鑑賞体験が提供できるよう積極的に誘致に取り組みます。

また、一般公募による「こどもミュージカル」等、参加体験の機会を提供します。

“教育プラットフォーム「学校プログラム」”については2校以上のコーディネートを担当し、アーティストを派遣します。

〈新進アーティスト支援事業〉

玄関前ステージでのストリートライブと小ホールの若手演奏家によるコンサート企画を再開するほか、老舗ジャズ喫茶「ちぐさ」が主催する新人ジャズミュージシャンの登竜門とされる「ちぐさ賞ライブ」や日本バレエ協会が主催する若きバレエダンサーのための新人コンクールの安定的な実施時協力します。

また、若手劇団による市内12か月連続公演のための会場提供を行い、その集大成となる大ホール公演の成功に向けた協力を行います。

〈市民の創作活動のための機会の提供〉

コロナ感染症の影響により実施を見合わせていた観客もともに歌うクラシックコンサート「陽だまりコンサート」を再開します。また、新たな取り組みとなるリハーサル室利用者による「文化

祭」の開催と「障がいの有無に関わらず、共に参加する共創型のダンスワークショップ」（再掲：3館連携事業）の実施を目指します。

〈地域の賑わいへの貢献〉

馬車道商店街との連携により、毎年5/9に開催する“あいすくりーむ発祥記念イベント”と連携し大ホールでコンサートを実施するほか、10/31から4日間の日程で実施する“馬車道まつり”と連携した“アートフェスタ”を開催します。馬車道まつり実行委員会の一員である東京ガスや地域の大学などとも連携を模索し、新たな広がりのあるにぎわいづくりを目指します。

〈情報提供及び広報〉

神奈川新聞の広告やテレビ神奈川のスポットCM及び番組内告知など、当事業体ならではのマスメディアを最大限活用した広報活動を行います。タウンニュースや広報よこはまなど地域の情報誌を活用するとともにSNSやネット広告など様々な媒体を駆使してより多くの市民に必要な情報を提供できるよう積極的な広報を行います。

(2) 集会や講演会利用への施設の取組み

専門スタッフによるきめ細かな利用アドバイスと、公演実施に必要となる生花、お弁当、看板等の手配をワンストップで提供する“ステージコンシェルジュサービス”により、引き続き利用者のサポートに努めるほか、ポストコロナにおける、大・小ホールに既設の「リアル動画配信システム」を活用した講演会、発表会、集会等の利用について広くサポートしていきます。

(3) 施設運営

アンケート回答等、利用者の意見を基に業務改善のPDCAを行う「責任者会議」を毎月定期的を実施することで利用者目線に立った業務改善に取り組み、利用者ニーズの把握と満足度の向上に努めるほか、各種利用割引優遇制度や割安な利用料金プラン、ステージコンシェルジュ等の利用者サービスと、大・小ホールに既設のリアル動画配信システムの無償提供を継続することで更なる利用率の向上に努めます。その他、利用者から要望が多い大・小ホールの利用時間延長への対応や、公演チケットの委託販売業務等についても引き続き実施していきます。

また、リハーサル室のWi-Fi環境の整備に取り組み利便性向上に努めます。

(4) 施設管理

大規模改修工事で更新及びオーバーホールされた設備機器類及び内装類を機能維持するだけでなく、更新されなかった設備機器類が良好な状態を保てるように維持すること、並びに保安警備業務の徹底、日常清掃の継続によって、常に安全で快適な環境を関内ホール利用者、付属店舗、青少年育成センターに提供できるように施設管理業務を努めていきます。

また新型コロナウイルス感染拡大予防対策は、状況に応じたアルコール消毒剤での拭掃、効率的な外気導入換気を継続して実施します。

(5) 収支

指定管理料のみに依存しない収入構造や経費削減などの効率的な運営を行うために、様々な努

力や工夫による収入の増加と費用の減少を図ります。

収入面においては、各種サービスや割引優遇制度の導入、格安利用プラン等の実施により利用率向上に取組むことでの利用料収入の増加や、魅力的な自主事業の実施とそれに伴う広報、PR活動の積極的な取り組みによる事業収入の増加に努めます。

一方、費用面においては、適正人員の配置と業務の平準化、可視化、効率化による人件費削減や、事業実施時における舞台技術の内製化による事業費削減、建物や設備における予防保全の徹底による維持管理費の削減に努めることで全体的な運営費の減少を図ります。

また、質の高い事業企画による企業協賛や公的助成金の取得についても、引き続き積極的に取り組みます。

(6) 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

事務所、警備、設備、清掃、舞台等のセクションごとに管理日報を作成し、サーバーで一元管理を行います。報告事項については管理月報としてとりまとめ、月次のモニタリング会議において横浜市へ報告します。

業務計画書ならびに業務報告書、業務評価表については、年度ごとに作成し横浜市へ提出します。

6 使命の指標の達成状況

(1) 使命1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績	
1	貸館利用率	大ホール	—	94.1%	—	—	—	95.0%	—
		小ホール	—	83.7%	—	—	—	86.2%	—
2	総来場者数	—	280,000 人	—	—	—	310,000 人	—	
3 ★	リハーサル室利用者による文化発表会の実施	—	年1回	—	—	—	年1回	—	
4 ★	業務改善のためのPDCAサイクルとして定期的に責任者会議を実施	—	月1回	—	—	—	月1回	—	

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	利用者の状況についての現状把握	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	主催者、来場者、事業参加者向けアンケートの実施
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—

	R 7実績	—
	R 8達成指標	主催者、来場者、事業参加者向けアンケートの実施
	R 8実績	—

ウ 使命1を達成するために重点的に取り組む事項

- ・貸館利用率の向上を図るため、割引優遇制度を行うとともに、新規利用者を開拓するために「マイ練習プラン」を実施し、「生中継動画配信設備」を無償提供します。
- ・リハーサル室利用者による文化祭を実施します。
- ・業務改善のためのPDCAサイクルとして日常的に利用者アンケートを実施するとともに、定期的な責任者会議を実施し、利用者満足度の向上に努めます。
- ・次年度以降に実施を予定している、リハーサル室の定期利用者による文化発表会の実施について具体化を進めます。

(2) 使命2 文化・芸術の鑑賞の機会を提供する

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4実績	R 5達成指標	R 5実績	R 6実績	R 7実績	R 8達成指標	R 8実績
1	鑑賞型事業のメニューのジャンル数、実施回数及び入場者数	—	7ジャンル 44回 29,000人	—	—	—	7ジャンル 44回 35,500人	—
2	体験型事業の事業数及び実施回数	—	6事業 17回	—	—	—	6事業 17回	—
3	アウトリーチ事業の実施回数	—	年2回	—	—	—	年2回	—
4	来場者(参加者)満足度(アンケート集計)	—	事業アンケートで「満足」以上の回答85%	—	—	—	事業アンケートで「満足」以上の回答90%	—
5★	ソーシャルインクルージョンに配慮した事業の実施数	—	6事業	—	—	—	8事業	—
6★	公的な文化芸術事業へ協力を行った数	—	5事業	—	—	—	5事業	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	参加者の定性分析	R 4実績	—
		R 5達成指標	事業アンケートの回答や事業モニターの意見から、今後の事業に

			ついて改善点の洗出しを行う
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	事業アンケートの回答や事業モニターの意見から、今後の事業について改善点の洗出しを行う
		R 8 実績	—

ウ 使命2を達成するために重点的に取組む事項

- ・ソーシャルインクルージョンに配慮した取組として、若手アーティストのコンサートシリーズで障がい者キャッシュバックを行います。
- ・主催事業のアンケート調査において「満足」以上の回答 85%以上を目指します。
- ・事業アンケートの回答や事業モニターの意見から、今後の事業について改善点の洗い出しを行います。
- ・横濱ジャズプロムナード、ヨコハマ映画祭、心の教育バレエの世界等、公的な文化事業の実施に向けた協力を行います。

(3) 使命3 次世代を担う人材を育む

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	子どもをターゲットとした事業数	—	10 事業	—	—	—	10 事業	—
★ 2	玄関前ステージでの公募型ストリートライブ定期開催数	—	10 回	—	—	—	10 回	—
★ 3	新進アーティスト支援を目的とした事業数	—	5 事業	—	—	—	5 事業	—
★ 4	学校プログラムへの協力	—	2 校	—	—	—	2 校	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	子どもたちや学校の定性分析	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	事業アンケートの実施に加え、参加者または学校関係者にインタビューを行う
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	事業アンケートの実施に加え、参加者または学校関係者にインタ

			ビューを行う
		R 8 実績	—
2	新たに参加した人の属性分析	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	事業アンケートの実施により、参加者の属性分析を行い事業企画や広報に活かす
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	事業アンケートの実施により、参加者の属性分析を行い事業企画や広報に活かす
		R 8 実績	—

ウ 使命3を達成するために重点的に取り組む事項

- ・ 玄関前ステージを利用した公募のストリートライブについて、10回を目標に実施します。
- ・ 音楽やダンス等、新進アーティスト（若手アーティスト）支援を目的とした事業について、今年度は5事業を実施します。
- ・ 学校プログラムについて、市内の小学校2校以上を担当します。
- ・ コンサートや演劇、ワークショップ事業など、子どもを対象とした事業について、4事業を実施します。
- ・ 主催事業において参加者を対象とした事業アンケートと聞き取り調査を行い、感想や意見等から定性分析を行います。また、新たな参加者について属性分析を行います。

(4) 使命4 地域のにぎわいを創出する

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	地域の施設・団体と連携して実施した事業数	—	10 事業	—	—	—	10 事業	—
★ 2	デジタルアーカイブ（関内ホール動画コレクション）に地域イベント等の新規タイトルを追加	—	10 本追加	—	—	—	10 本追加	—
★ 3	馬車道商店街とのヒアリングを実施	—	毎月1回	—	—	—	毎月1回	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	連携したことによ	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	地域の団体関係者へ、アンケート調査及びインタビューを行う

	る地域の 定性分析	R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	地域の団体関係者へ、アンケート調査及びインタビューを行う
		R 8 実績	—

ウ 使命4を達成するために重点的に取組む事項

- ・ “あいすくりーむ発祥記念の日” および “馬車道まつり” について、馬車道商店街との並び主催によるコンサートを実施するなど、地域の施設・団体等との連携事業を7件以上実施します。また、地域の祭事等について施設の提供や人的サポート等の協力を行います。
- ・ 地域の関連団体（関内まちづくり振興会など）と、今後の地域発展への取組みについての方向性を検討するとともに、連携体制の構築に取組みます。
- ・ 当共同事業体と連携している、吉野町市民プラザ、岩間市民プラザの3館連携事業としてダンス・音楽・アート3分野でのイベントを実施します。

(5) 使命5 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1	施設の管理瑕疵に起因する事故件数	—	0件	—	—	—	0件	—
2	法定点検等の実施	—	100%	—	—	—	100%	—
3	修繕予算の執行率	—	90%	—	—	—	90%	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	来場者アンケートに、空調や清掃、誘導サインなどについての項目を設け、回答に基づき改善について分析を行う。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	来場者アンケートに、空調や清掃、誘導サインなどについての項目を設け、回答に基づき改善について分析を行う。
2	管理運営費推移の	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	年度毎に管理運営費の分析を行い、運営管理費及び修繕計画の見

	要因分析		直しを行う。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	年度毎に管理運営費の分析を行い、運営管理費及び修繕計画の見直しを行う。
		R 8 実績	—
3 ★	中期修繕 計画の策 定と見直 し	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	建物、設備の長寿命化を目的とし、緊急度、重要度に基づいた最適な保全計画による中期修繕計画を策定する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	建物、設備の長寿命化を目的とし、緊急度、重要度に基づいた最適な保全計画による中期修繕計画を策定する。
		R 8 実績	—

ウ 使命5を達成するために重点的に取組む事項

- ・空調や清掃、誘導サインなどに関し、来場者アンケートに追加する質問内容を検討します。
- ・PDCA サイクルに基づく施設管理を徹底することによって、施設管理瑕疵に起因する事故発生件数0の達成を目指します。

P：年間作業計画表の作成と維持管理マニュアルの作成

D：作業計画に沿った適切な業務と日常巡回点検の実施

C：責任者と技術員による多段階のチェック体制

A：年間作業計画表の作成及び見直し

- ・修繕予算に応じた修繕の実施を心掛けますが、緊急度の高い修繕案件が発生した場合は、速やかな対応策を修繕予算残額にこだわることなく検討します。

令和5年度 横浜市市民文化会館関内ホール 指定管理業務計画表

評価項目		令和5年度計画		実施状況		評価		
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	実績	説明	自己評価	行政評価	
1 文化活動をはじめとする市民の活動の場となる(使命1)	市民だれもが気軽に発表・創作活動が出来るためのさらなる利用促進の取組	公の施設としての公平で公正な貸出業務の実施	■市民利用施設予約システムでの抽選や、空き施設申込みによる公平で公正な貸出し業務を行う。	実施		【成果】 【課題】	【評価できる点】 【更なる取組を期待する点】	
		市民の文化振興を図り、新規利用者を開拓するための貸出サービスの実施	■営利を目的としない個人の練習向けに、利用2週間前を切った小ホールの夜間空きコマを格安で提供する「マイ練習プラン」を実施する。	実施				
		リピーターのニーズに応え、利用率の向上を図る割引優遇制度の実施(様式22-B)	■大・小ホールに生中継動画配信設備を設置し、利用者へ無料で提供する。	実施				
			■利用1ヶ月前を切った大・小ホールの空きコマについて、「直前申請割引(遅割り)」を実施する。	実施				
			■リハーサル室スタンプカード会員サービスを実施する。	実施				
			■大・小ホール、リハーサル室全室を終日利用する場合、リハーサル室4部屋分の料金を割引する「全館利用割引」を実施する。	実施				
			■設置やリハーサルに使用した時間帯について割引を適用する「リハーサル区分割引」を実施する。	実施				
			■サポーターズ倶楽部の登録団体が共催で事業を行う場合、利用料金について10%~100%割引を適用する「サポーターズ倶楽部共催割引」を実施する。	実施				
	市民の創作活動のための機会の提供	市民とともに創り上げる、創作ワークショップと発表機会の提供	□ゴスペルワークショップ(3か月間) □横浜市民ミュージカル □横浜市民こどもミュージカル	3事業				
		市民が気軽に参加できる公演事業の開催	□参加型コンサート事業2事業 * 陽だまりコンサート(1事業4公演) * ゴスペルWS修了コンサート1000人ゴスペル	2事業				
2 文化・芸術の鑑賞の機会を提供する(使命2)	文化芸術のジャンルを拡げた、様々な鑑賞・体験・アウトリーチの機会の提供	音楽	□懐かしのアイドル・大人向けポップス公演 □海外アーティスト公演 □ アイドル・アニメ等の若者、ファミリー層向け公演	28公演		【成果】 【課題】		
		ダンス	□ダンス公演系事業公演	2公演				
		演劇・ミュージカル	□市内で活動する劇団等の公演	1公演				
			□一般演劇公演	1公演				
		伝統芸能	□落語・漫談等、伝統芸能系事業公演	8公演				
		市民が気軽に参加できる体験型やアウトリーチ事業の開催	□市内の福祉施設、幼稚園等へのアウトリーチ事業	1回				
	□体験型事業(各種ワークショップ、音楽・市民ミュージカル、ダンスフェス等)		4事業					
	ソーシャルインクルージョンに配慮した鑑賞の機会を提供するための取組		□主催事業で障がい者割引あるいは障がい者招待を実施 対象事業:若手コンサート・陽だまりコンサート	6公演				
			□留学生交流音楽祭の実施協力	1事業				
	横浜が誇る公的な文化芸術事業に積極的に協力	■公演へ来場する障がい者に車椅子や駐車場を提供する。	実施					
3 次世代を担う人材を育む(使命3)	子どもたちの成長度合いに合わせた文化芸術との出会いを提供	□成長、発達段階に合わせた様々な鑑賞事業の提供	3事業		【成果】 【課題】			
		□子供たちが解り易く楽しく文化芸術を学ぶ場の提供	2事業					
	新進アーティストを支援する、発表機会の提供	□音楽・ダンス等、新進アーティスト支援事業	4事業					
		□ショートパフォーマンスライブ	年10回					
	横浜市芸術文化教育プラットフォーム『学校プログラム』への協力	□コーディネイト派遣	小学校2校					
	私たちの強みの発揮による市民に対する文化芸術活動の担い手の育成	□市民写真講座	1事業					
		□市民ライター講座	1事業					
		□市民映像講座	1事業					
		□ピアノ練習プラン(2時間単位貸し)を設ける。	実施					

評価項目	令和4年度計画	実施状況
------	---------	------

令和5年度 横浜市市民文化会館関内ホール 指定管理業務計画表

I 文化事業	指定管理者提案(要旨)		取組内容	目標	実績	説明	自己評価	
4 地域のにぎわいを創出する(使命4)	地域の賑わい創出への取組	地元・馬車道商店街などの様々な連携関係の構築	■ホワイエに「馬車道商店街店舗用チラシラック」を設置し、商店街の活性化に協力する。	実施			【成果】 【課題】	
			■馬車道商店街が実施するイベントについて、チラシ制作及び配架、ウェブサイトでの情報発信に協力する。	実施				
			■商店街の店舗と連携したクーポンサービス(テケ得)を実施する。	実施				
			■従来とは異なる層の来街者創出のため、若者やファミリーを対象とした事業の充実に取組む。	実施				
		共同事業体の専門性を活かした多彩な広報・プロモーション活動	■月刊イベント情報誌「Kannainfo」を作成し市内の施設や駅等に定期配布を行う。	実施				
			■利用者向け公式Webサイトを運営する。	実施				
			□tvk屋の情報番組で事業告知を放映	5事業				
			□スポットCMを制作し、tvkで放映	8事業				
			□tvkの番組との運動公演	2事業				
			□神奈川新聞で施設や事業の紹介を掲載	年6回				
			■事業広報に新聞・フリーペーパー・地域情報誌を活用する。	実施				
		地域の文化を継承する様々な取組み	□関内ホールでの公演や発表会を収録しデジタルアーカイブとしてyoutube「関内ホール動画コレクション」で配信する。	新規8タイトルを追加				
			■建物北壁面において「Back Street Gallery」を公開する。	実施				
		地元事業への積極的な貢献	■馬車道商店街などが実施する定例行事やお祭りなどに、企画・広報など専門性を活かした協力を行う。	実施				
□馬車道商店街等、地域の定例行事とタイアップした連携事業の実施	7事業							
新たな地域貢献への取組み	■関内まちづくり振興会との連携による取組み	開催に向けた企画・立案						
	■吉野町市民プラザ、岩間市民プラザとの3館連携事業の実施	実施						
	■リポーター講座等の実施による、地域情報発信者の育成	実施						
II 集会や講演会利用への施設の提供	指定管理者提案(要旨)		取組内容	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1 発表会や講演会・集会等におけるきめ細やかな主催者支援サービスの実施(使命1-3)	1	舞台技術者1名が事務所に常駐することによる、専門的なアドバイスとサポートの実施	■舞台の専門知識を持ったスタッフによるサービス対応	実施			【成果】 【課題】	【評価できる点】 【更なる取組を期待する点】
	2	ステージコンシェルジュによる、利便性の高いワンストップサービスの提供	■専門知識を持つスタッフによる公演実施に関するきめ細かなアドバイスと、説明マニュアルやビジュアル資料を用いたご案内により発表会・集会・講演会等の利用をサポート	実施				
			■公演に必要な物品の手配 生花取次/弁当取次/看板取次/機材取次/見学対応	実施				
			■施設利用者に対しWebサイトや月刊イベント案内「kannainfo」で催し物の告知を行う。 ■ホールで実施する公演のチケット販売カウンターの設置	実施				
2 施設の利用調整	3		■行政が主催・共催する講演会や集会などに引き続き優先枠を提供する。	実施			【成果】 【課題】	

令和5年度 横浜市市民文化会館関内ホール 指定管理業務計画表

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価			
Ⅲ施設運営		指定管理者提案(要旨)		取組内容	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1 利用者満足度の向上につながる、様々なニーズの把握とその対応策の検討(使命1-4)	1 利用者満足度の向上につながる様々なニーズ把握	<ul style="list-style-type: none"> ■利用者のニーズを把握するため、主催者、来場者、事業参加者に向けた各アンケートを実施する。 ■事業主催者(利用者)へのヒアリングを随時行う。 	実施					【成果】 【課題】	【評価できる点】 【更なる取組を期待する点】
	2 PDCA発想に基づくニーズ・要望への対応	<ul style="list-style-type: none"> □各運営セクションの責任者による月1回の責任者会議を実施し、業務の改善に努める。 	月1回						
2 苦情発生に対する取組(使命1-5)	1 過去の苦情や対応をもとにした「苦情対応マニュアル」の作成	<ul style="list-style-type: none"> ■過去の苦情およびその対応を参考に「苦情対応マニュアル」を作成し全職員が共有する。 	実施					【成果】 【課題】	
	2 苦情対応フローの構築	<ul style="list-style-type: none"> ■苦情対応フローに沿って、苦情に対する処理を行う。 	実施						
	3 日常業務での気付き(ヒヤリ・ハット)の記録・共有	<ul style="list-style-type: none"> ■日常の「ヒヤリ・ハット」事例を日報に記載するとともに「運営調整会議」を通じ全職員が共有する。 	実施						
3 組織的な施設運営(様式14.15)	1 専門性が高い効率的な組織体制(様式14-1)	<ul style="list-style-type: none"> ■事務所に舞台技術の相談員として舞台技術者を常時1名配置する。 	実施					【成果】 【課題】	
		<ul style="list-style-type: none"> ■定期的な会議に加え、ビジネスチャットツール(slack)を用いた情報共有を行う事でマルチジョブ化を進め、効率的な運営を実施する。 ■施設の管理運営にあたっては、専門分野の人材を適正に配置する。 	実施						
		<ul style="list-style-type: none"> □朝礼 □職員会議 □関係機関連絡会(店舗・青少年育成センター) □利用調整会議(横浜市) □運営委員会(JV会議) □責任者会議 	毎日 月1回 年2回 月1回 四半期に1回 月1回						
	2 円滑な管理運営のための各種会議の実施	<ul style="list-style-type: none"> ■共同事業体各社から業務ごとに専門性の高い常勤職員10名を適正に配置する。 	実施						
		<ul style="list-style-type: none"> ■職員各々に応じたOJTについて年間を通じて実施する。 	実施						
	4 主要人材の能力担保	効果的なOJTの実施 サービスレベルの統一とホスピタリティあふれる運営につながる研修体制、利用者を支える高品質な接客マナー	<ul style="list-style-type: none"> □接客マナー研修 	年2回					
			<ul style="list-style-type: none"> □人権研修 	年1回					
			<ul style="list-style-type: none"> □インスタントシニア研修 	年1回					
			<ul style="list-style-type: none"> □コンプライアンス研修 	年1回					
			<ul style="list-style-type: none"> □個人情報保護法研修 	年1回					
			<ul style="list-style-type: none"> □危機管理研修 	年1回					
			<ul style="list-style-type: none"> □防災訓練 	年2回					
			<ul style="list-style-type: none"> □普通救命講習 	年1回					
4 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用(様式25)	1 広報活動、その他情報提供における独自ノウハウの発揮(提案1)	<ul style="list-style-type: none"> □関内ホールでの公演や発表会を収録しデジタルアーカイブとしてyoutube「関内ホール動画コレクション」で配信する。 ■1階ロビー設置のデジタルサイネージで施設情報や事業についての告知、馬車道商店街の情報等を放映する。 	(再掲) 実施				【成果】 【課題】		
	2 利用者以外の様々な声を聞くことによるさらなる施設の魅力向上(提案2)	<ul style="list-style-type: none"> □馬車道商店街とのヒアリングを毎月1回行う。 ■事業主催者へのヒアリングを随時行う。 ■市民モニターとの意見交換を随時行う。 ■公募により市民モニターを募集し、主催事業についての意見や感想をWebサイトで公開する。 	実施 実施 実施						
	3 当施設の利用者に対する快適性向上の取組(提案3)	<ul style="list-style-type: none"> ■出店を希望するイベントの開催時に、大ホール2階ホワイエのカフェコーナーで臨時出店を行う。 ■リハーサル室4部屋についてインターネット環境の整備を進める。 	実施 実施						
	4 持続可能な未来のために私たちができること(提案4)	<ul style="list-style-type: none"> ■SDGs映画会の開催 ■子供向けプログラミング体験講座の開催 	実施に向けた立案						
	5 その他施設運営に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ■休館日、開館時間について年度ごとに横浜市へ届出を行う。 ■ホール内の飲食物販売など、許認可の取得や届出を必要とする場合は関係各所に対し適正に申請を行う。 ■自動販売機、携帯中継アンテナ等の目的外使用の申請について横浜市へ届出を行う。 ■財務状況の確認のため、横浜市の要請に応じ財務諸表などの財務状況について確認できる書類を提出する。 	実施 実施 実施 実施						【成果】 【課題】

令和5年度 横浜市市民文化会館関内ホール 指定管理業務計画表

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価	
IV施設管理	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1 保守管理業務(使命5)	1 PDCAサイクルに基づく計画的で高品質な施設管理業務の実施	■施設や設備の特性や、公演実施時の注意事項などを熟知し、「施設管理業務のPDCA」に沿った的確な管理運営を実施する。	実施			【成果】 【課題】	【評価できる点】 【更なる取組を期待する点】
	2 仕様基準を上回る高品質な施設管理のための創意工夫	設備保守管理業務について ■ホール利用の緊密差に応じ、経験値に基づいた的確な空調コントロールを行う。 ■老朽化した排水設備に対し、迅速かつ的確に状態を把握することが可能なファイバースコープ診断を実施する。 ■店舗(6区画)及び青少年育成センターの専有エリアを含めた建物、設備の保守管理を適切に行う。 ■緊急性と重要度に基づいた修繕(突発修繕・計画修繕)を実施して施設の長寿命化を図る。 ■備品管理簿をデータ化し、備品管理を効率的に行えるよう取組む。 ■館内設置のランドピアノ4台について適切な保管環境の維持に加え、定期メンテナンスを実施することで良好な状態を保つ。 ■年1回、物品管理簿の棚卸を行い、物品が適切に管理されているか確認し、市に報告する。	実施 実施 実施 実施 実施				
2 環境維持管理業務(使命5)	仕様基準を上回る高品質な施設管理のための創意工夫	清掃等の施設管理業務について ■「指定管理者業務の基準」ならびに「同別添資料」に記載された環境維持管理業務を、着実に遺漏なく実施する。 ■施設の環境を維持し、快適な環境を保つため、清掃業務を適切に行う。 ■ホールの利用状況に応じた臨機応変な清掃対応を実施する。	実施 実施 実施			【成果】 【課題】	
3 保安警備業務(使命5)	事故防止および犯罪防止のための方針と対策	巡回警備の徹底	■警備員による館内巡回警備の徹底。最低1日2回。(開館日のみ)	実施		【成果】 【課題】	
		巡回による事故・犯罪の早期発見	■開館、閉館時や日常清掃時等に当該館内の巡回を実施。公演時は死角になりやすい場所の巡回を増やす等重点的にチェック。	実施			
		マニュアル作成と事例共有	■事件・事故等への対策を講じた「危機管理マニュアル」を作成。ヒヤリ・ハット事例をデータベース化し共有、危機管理マニュアルにも反映させる。	実施			
		清掃と整理による安全・快適性確保	■日常清掃により安全で快適な環境を提供。雨天時等はこまめにフロア清掃を行い、転倒事故を防止する。	実施			
		防犯に関する情報提供と注意喚起	■日頃より警察や消防、近隣施設等との関係を強化し、不審者情報や街頭犯罪等に関する情報を得るようにする。また必要に応じて防犯チラシ・ポスターや貴重品紛失・置き引き等の注意喚起チラシを掲示する。	実施			
		急病人発生時	■必要に応じ消毒やAED等の応急措置が行えるよう、受付等に応急手当用品を常備する。	実施			
		各店舗緊急時対応	■館内から直接様子を見ることが難しい付属6店舗にハンココールを設置して警備員が迅速に対応できる体制をとる。	実施			
		モニター監視業務の強化	■増設された防犯カメラを活用して監視業務の強化を図り、正面玄関ホールや外周路のセキュリティ対応を効率的に実施する。	実施			
		警備員不在時間の短縮	■利用者車両の駐車案内等を効率的に行い、警備室が不在となる時間を短縮。警備室側出入り口からの入館者の受付対応、不審者対応を強化する。	実施			
		機械警備による緊急対応	■23時以降は全館機械警備を実施し、24時間緊急対応が可能な体制を構築する。	実施			
4 防火・防災等(使命5・様式14)	平常時の防災対策	■自衛消防隊を設置し、年1回消化訓練を実施する。 ■年2回防災訓練を実施する。 ■主催者へ館内避難経路図及び広域避難場所の案内を配布して万一の災害に備える。	年1回 年2回 実施			【成果】 【課題】	
5 緊急時の対応(使命5・様式14)	1 緊急時(災害発生時)の連絡体制・役割分担	■全職員に対し緊急時の連絡体制と役割分担についての周知を徹底する。 ■大規模災害時には帰宅困難者一時滞在施設として適切な機能が果たせるよう、共同事業体各社が応援要員を派遣するなどのバックアップを行う。	実施 実施			【成果】 【課題】	
	2 災害発生時の取組	■地震、火災、台風など、災害の危険が予想される時は来館者の安全確保を最優先とし非難措置や必要な緊急対応を行うほか、横浜市と協議の上、閉館等の措置を適宜実施する。	実施				
	3 障がい者の安全管理対策	■災害発生時に障がい者を避難させる場合は、誘導担当職員が付き添うとともに、最終的に避難の完了を現場責任者が確認する。	実施				
6 感染症等衛生管理(使命5)	新型コロナウイルス等の感染症対策	清掃業務	■持続除菌効果を持つアルコールを用いた清掃を実施すると共に、日常清掃時及び定期的なホール内座席等の除菌を実施する。	実施		【成果】 【課題】	
		設備業務	■新型コロナウイルス終息までは外気の取入れ空気を最大にした感染予防最優先の空調管理を実施する。また、感染リスクを低減できる温度・湿度に館内環境を調整する。	実施			
7 その他施設管理に関する事項	1 来場者に対する近隣駐車場の案内など円滑な駐車場対策	■付近の駐車場マップを作成し、来場者にご案内する。	実施			【成果】 【課題】	
	2 併設する青少年センターに係る業務	■日常清掃、定期清掃、巡回警備、保守管理を実施する。 ■毎月1回、催事スケジュールについての情報交換を行う。	実施 実施				
	3 併設する6店舗に関する業務	■附属6店舗と、情報共有や運営改善のための連絡会を定期的に開催する。	年2回				
		■定期的にエアコンや消防設備の点検、店舗前の巡回警備、防犯対応、清掃を実施する。	実施				
		■横浜市と定期賃貸借契約を締結する。各店舗と賃貸借契約を締結する。	実施				
	4 施設の管理を行う上で必要な資格者の配置	■入居店舗が撤退した場合は市と協議の上、新入居者を選考する。	実施				
		■電気主任技術者(3種)を1名選任する。	1名選出				
■建築物環境衛生管理技術者を1名選任する。		1名選出					
■特定産業廃棄物管理責任者を1名選任する。 ■甲種防火管理者を1名選任する。		1名選出 1名選出					

令和5年度 横浜市市民文化会館関内ホール 指定管理業務計画表

評価項目		令和4年度計画		実施状況		評価	
V 収支	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1 利用率の目標設定(様式22-B)	利用率の目標	□大ホール、小ホール、リハーサル室(4部屋)において令和4年度の利用率の目標を設定	大ホール 94.1% 小ホール 83.7% リハーサル室			【成果】	【評価できる点】
2 指定管理料のみに依存しない収入構造(様式23)	1 自主事業の充実による事業収入の増加	□実施事業数と事業収入の目標を設定	33事業 3,000万円			【成果】	【更なる取組を期待する点】
	2 割引優遇制度など独自の利用料金制度の実施	■直前利用割引やリハーサル室スタンプサービスなどの各種利用料割引を継続し、利用者数の向上に努める。	実施			【課題】	
	3 質の高い事業企画による企業協賛や公的助成金の活用	■主催事業について公的助成金や企業協賛を得られるよう積極的に取組む。	実施			【課題】	
3 経費削減等効率的運営の努力(様式23)	1 職員のマルチジョブ化によるサービス向上とコスト削減の実現	■定例会議の実施や情報の共有(PCサーバー)により各職員が担当職のみならず相互に業務を補完することで効率的な運営を実施する。	実施			【成果】	【課題】
	2 管理経費の削減努力	■3期の運営経験から得たノウハウを活用することで、さまざまな経費を削減し、サービスの向上とコスト削減に努める。	実施			【課題】	
	3 ヨコハマ3R夢プランに基づく日常的な3R活動における省エネルギーの推進	■施設内で3R(リユース・リデュース・リサイクル)を推進し、廃棄物の減量および適正処理を行うとともに、必要の無いライトを消灯するなど、全職員が省エネルギー化に努める。	実施			【課題】	
	4 業務の平準化・見える化による生産性の向上	■業務手順についてワークフローやマニュアルを作成するなど、業務の標準化を進め生産性の向上に努める。	実施			【課題】	
	5 ビジネスチャットツール及びパソコンの共有サーバーを活用した業務効率化	■情報共有手段としてグループウェア・共有サーバーを活用し、作業の効率化を図る。	実施			【課題】	
	6 施設管理におけるコスト削減や予防保全による中・長期的な維持管理経費の削減	■チェックリストを用いた巡回点検に重点を置き、些細な不具合の早期発見および小破修繕により、中長期的な経費削減を図る。	実施			【課題】	
VI 各種計画書・報告書の作成及び業務評価	業務の基準	取組内容	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
各種計画書・報告書の作成	1 日報、月報の作成・管理	■業務日報の作成 ■管理運営月報・完了確認書を作成し、モニタリングにおいて報告	実施 実施			【成果】	【評価できる点】 【更なる取組を期待する点】
	2 事業計画書・事業報告書の作成・管理	■事業計画書・事業報告書の作成 ■事業計画に沿って成果が見える報告書を作成	実施 実施			【課題】	
	3 業務評価の実施	■自己評価	実施			【課題】	
VII その他	公募要項	取組内容	目標	実績	説明	自己評価	行政評価
1 市の重要政策課題への対応(様式26)	1 個人情報保護	■個人情報の保護に関する法令等を遵守し、個人情報を適正に取り扱う。 □職員向けに個人情報保護に関する研修を実施 ■個人情報の具体的な取扱い方法について記載した「個人情報取扱いマニュアル」を整備	実施 年1回 実施			【成果】	【評価できる点】 【更なる取組を期待する点】
	2 情報公開	■「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」に準じて作成した「関内ホール情報公開規程」に基づき、行政文書開示請求等に対して適切に対応する。	実施			【課題】	
	3 人権尊重	□職員一人一人が人権尊重を実践するよう人権研修を実施	年1回			【課題】	
	4 環境への配慮	■利用者によるごみの分別状況を確認し、分別の徹底を依頼する。	実施			【課題】	
		■施設から発生する廃棄物の発生抑制に努めるとともに、職員によるゴミ分別励行を行いゴミの資源化を促進する。	実施			【課題】	
		■横浜市が推進する「みどりアップ計画」に則り、周辺地域の緑化に協力する。	実施			【課題】	
	5 障害者差別解消	■障がい者を含むすべての利用者が、安全安心で快適に施設を利用できるよう、取組を進める。	実施			【課題】	
6 男女共同参画	■職員が、性別等により個々の能力を制限されることなく発揮できる環境づくりを行う。	実施			【課題】		
7 市内中小企業優先発注	■「横浜市中小企業振興基本条例」を踏まえ、修繕等の発注、物品及び役務の調達等に当たって、可能な限り市内中小企業への優先発注に努める。	実施			【課題】		
2 その他	1 保険及び損害賠償の取扱い	■「指定管理者業務の基準 別添資料」に基づき施設賠償保険、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険に加入する。	実施			【成果】	【課題】
	2 関係法令等の順守	■現行の関係法令を順守するとともに、法令改正に気を配り、契約等の前に確認する。	実施			【課題】	
	3 市及び関係機関等との連絡調整	■事故や不具合時は速やかに報告し、随時共有する。 □附属6店舗と、情報共有や運営改善のための連絡会を定期的に開催する。 ■馬車道商店街、住吉町内会の連絡会等に出席する。	実施 (再掲) 実施			【課題】	

令和5年度 「横浜市市民文化会館関内ホール」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	141,441,000		141,441,000		141,441,000	横浜市より
利用料金収入	70,290,000		70,290,000		70,290,000	
自主事業収入	30,950,000		30,950,000		30,950,000	
雑入	31,148,000	0	31,148,000	0	31,148,000	
自動販売機手数料	1,900,000		1,900,000		1,900,000	
育成センター施設負担金	13,458,000		13,458,000		13,458,000	
附属店舗賃借料・共益費・電気料	12,790,000		12,790,000		12,790,000	市に納付の附属店舗貸付料を含む
その他(チケット販売手数料等)	3,000,000		3,000,000		3,000,000	チケット販売手数料、物販手数料 他
収入合計	273,829,000	0	273,829,000	0	273,829,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	53,802,000	0	53,802,000	0	53,802,000	
給与・賃金	46,326,000		46,326,000		46,326,000	
社会保険料	5,766,000		5,766,000		5,766,000	
通勤手当	1,710,000		1,710,000		1,710,000	
健康診断費	0		0		0	出向者分は共同事業体各社にて負担
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	出向者分は共同事業体各社にて負担
退職給付引当金繰入額	0		0		0	出向者分は共同事業体各社にて負担
事務費	17,231,000	0	17,231,000	0	17,231,000	
旅費	30,000		30,000		30,000	
消耗品費	1,320,000		1,320,000		1,320,000	
会議賄い費	30,000		30,000		30,000	
印刷製本費	320,000		320,000		320,000	広報費1,760,000を減額、自主事業費に付け替え
通信費	1,030,000		1,030,000		1,030,000	チケット・チラシ配送費、郵券代含む
使用料及び賃借料	10,887,000	0	10,887,000	0	10,887,000	
横浜市への支払分	10,887,000		10,887,000		10,887,000	定期建物賃貸借契約貸付料(附属店舗)、目的外使用料(飲料自販機6台分、ドリンクコーナー)
その他	0		0		0	
備品購入費	360,000		360,000		360,000	
図書購入費	10,000		10,000		10,000	
施設賠償責任保険	113,000		113,000		113,000	業務災害補償保険(補償対象者：自主事業時のアルバイト)を含む
職員等研修費	100,000		100,000		100,000	
振込手数料	360,000		360,000		360,000	
リース料	1,791,000		1,791,000		1,791,000	無線機、コピー複合機、紙折機、パソコン、PC本体・保守、AED 他
手数料	70,000		70,000		70,000	チケット代引き手数料 他
地域協力費	810,000		810,000		810,000	馬車道商店街協同組合費、住吉町町内会費、全国・県公文協会費
事業費	31,190,000	0	31,190,000	0	31,190,000	
自主事業費	31,190,000		31,190,000		31,190,000	自主事業費29,430,000+広報費1,760,000
管理費	178,367,000	0	178,367,000	0	178,367,000	
光熱水費	51,960,000	0	51,960,000		51,960,000	
電気料金	40,000,000		40,000,000		40,000,000	令和4年度電気料金の単価を基に算出
ガス料金	7,980,000		7,980,000		7,980,000	令和4年度ガス料金の単価を基に算出
水道料金	3,980,000		3,980,000		3,980,000	
清掃費	20,068,000		20,068,000		20,068,000	
修繕費	3,800,000		3,800,000		3,800,000	
舞台管理技術委託費	48,884,000		48,884,000		48,884,000	
機械警備費	1,040,000		1,040,000		1,040,000	
設備管理費	52,615,000	0	52,615,000		52,615,000	
空調衛生設備保守	13,754,000		13,754,000		13,754,000	
消防設備保守	4,754,000		4,754,000		4,754,000	
電気設備保守	11,991,000		11,991,000		11,991,000	
害虫駆除清掃保守	810,000		810,000		810,000	
駐車場設備保全費	165,000		165,000		165,000	
その他保全費	21,141,000		21,141,000		21,141,000	
共益費	0		0		0	
公租公課	4,285,545	0	4,285,545	0	4,285,545	
事業所税	0		0		0	
消費税	4,095,545		4,095,545		4,095,545	
印紙税	47,000		47,000		47,000	
その他(国税・地方税)	143,000		143,000		143,000	預金利息の国税・地方税、中区法人市民税均等割り額
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	1,203,000	0	1,203,000	0	1,203,000	
本部分	715,000		715,000		715,000	経理事務負担金及び確定申告税理士報酬負担分
当該施設分	488,000		488,000		488,000	新聞購読料、一般廃棄物処理費、機密文書溶解処理費、粗大ごみ処理費等
支出合計	286,078,545	0	286,078,545	0	286,078,545	
差引	△ 12,249,545	0	△ 12,249,545	0	△ 12,249,545	

自主事業費収入				0	
自主事業費支出				0	
自主事業収支				0	

管理許可・目的外使用許可収入				0	
管理許可・目的外使用許可支出				0	
管理許可・目的外使用許可収支				0	